

エネルギーと科学・技術に関する分科会（第1回） 議事録

日時：平成30年1月10日（水）10：00～11：40

場所：日本学術会議5階 5-A（1）会議室

出席者：鈴置保雄委員、秋元圭吾委員、朝倉薫委員、疇地宏委員、伊藤公孝委員（スカイプ）、犬竹正明委員、岩城智香子委員、大久保泰邦委員、北川尚美委員、齋藤公児委員、高田保之委員、柘植綾夫委員、藤田修委員、三間罔興委員、門出政則委員、矢川元基委員、山地憲治委員

配布資料：

資料1-1 分科会設置提案書

資料1-2 分科会委員名簿

資料2-1 「地球温暖化対応の視点からのエネルギー対策・政策検討小委員会」設置提案書

資料2-2 同上 委員名簿

資料3-1 「熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会」設置提案書

資料3-2 同上 委員名簿

議事

1) 委員長の互選、副委員長、幹事の選任

- ・ 委員長の互選を行った。鈴置委員を推薦する意見があり、全会一致で鈴置委員を委員長とすることとした。
- ・ 副委員長、幹事は委員長の指名により決定することになっており、鈴置委員長より、副委員長として山地委員、幹事として秋元委員、疇地委員が指名され選任された。

2) 小委員会の設置提案・委員の推薦

- ・ 秋元委員より、資料2-1、2-2に基づき、「地球温暖化対応の視点からのエネルギー対策・政策検討小委員会」設置趣旨、委員案の説明がされた。小委員会設置を承認することとし、1月の幹事会に諮ることとした。なお、教育に関する課題、平均気温上昇だけではない気候変動の不均一性といったような課題についても留意して進めて欲しいとの意見が出された。
- ・ 北川委員より、資料3-1、3-2に基づき、「熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会」設置趣旨、委員案の説明がされた。小委員会設置を承認することとし、1月の幹事会に諮ることとした。なお、地中熱のデータベース構築を行っている研究者もいるので、情報交換を行ってはどうかとの意見も出

された。

3) 特任連携会員の推薦

- ・ 藤岡恵子氏は、前期に連携会員だったが、今期連携会員を外れている。しかし、前期から実質的に継続となる「熱エネルギー利用の社会実装基盤小委員会」で主要な役割を果たされているため、分科会として特任連携会員として迎えたいとの提案が鈴置委員長からなされ、承認された。

4) 第24期の方針

- ・ エネルギー・科学技術に関する初等、中等を含めた教育の問題は大変重要。また、エネルギー・科学技術の社会との接点をどう作っていくかは重要。第24期では教育の問題を重要視して取り組んではどうか。
- ・ 第24期としての目玉を設けることも重要。教育、IT・AIなどは候補案
- ・ 様々な電子地図情報が整備されつつあり、エネルギー分野においても活用方法の検討は重要
- ・ 分科会としては、根本的な原理の理解や、複雑なエネルギーの問題を俯瞰的にとらえ、それらを世の中に正しく発信する一助となることは重要な役目の一つ。
- ・ 教育の問題などを含め、外部の様々な意見を聞く場としても活用したシンポジウムを、分科会として早い時期に開催してはどうか。

5) その他

- ・ 分科会は年2～3回程度の頻度で開催を予定。次回分科会は夏前頃を予定する。

(以上)